

令和4年度 特集展1

密教仏画の至宝 *Season 4* 京都長谷川派の仏画

竹田市にある願成院愛染堂(住職 後藤幸雄師)の寺宝である仏画の展示も今回で4回目になります。これまでの展示を振り返ってみますと、怒った顔、微笑んだ顔、顔が一つ以上ある仏、手足が二つ以上ある仏など、密教を特徴づける多種多様な仏画を見ることができたかと思えます。

今回は、仏画を描いた絵師に焦点をあてた展示を行います。願成院愛染堂が所蔵する仏画で、最も目を引いたのは京都長谷川派による作例が多いということでした。長谷川派といえば、画聖長谷川等伯が有名で、「松林図屏風」は国宝に指定されています。長谷川等伯には4人の子がいましたが、そのうち三男宗也の家系は絵師として今日まで続いています。宗也の家系で、長谷川賀一等鶴は仏画絵師として長谷川派を中興した人物です。長谷川賀一郎等叔は等鶴の養子となり、優れた画才の持ち主で多くの仏画を制作しています。等叔の長男である等舟も父の画才を受け継ぎ、高野山で仏画制作をした絵師として知られています。

これまで近世の仏画は、それ以前の仏画に比べて停滞した時代と評価されてきましたが、京都長谷川派の仏画をみると完成された様式美をもっているといえます。そこで今回は京都長谷川派の仏画から、近世仏画の優れた一面にせまります。



1期 大元帥明王像 乙本 長谷川等鶴作

展示構成と主な展示仏画

※ 期間中、以下のとおり3回の展示替え

1期 長谷川等鶴・等叔(1) 令和4年5月17日～

- 大元帥明王像 乙本 等鶴作
- 五大明王像 乙本 等鶴作
- 弘法大師像 甲本 等叔作
- 高野四社明神像 等叔作

2期 長谷川等叔(2) 令和4年6月7日～

- 兜率天曼荼羅図 乙本 等叔作
- 弘法大師絵伝 等叔作
- 釈迦三尊十六善神像 等叔作カ
- 三宝荒神像 等叔作カ

3期 長谷川等舟 令和4年6月28日～

- 聖天像 等舟作
- 毘沙門天像 丁本 等舟作カ
- 勝敵毘沙門天像 等舟作カ
- 不動明王像 丁本 等舟作カ
- 秘健大師像 等舟作カ



2期 釈迦三尊十六善神像 等叔作カ



3期 聖天像 長谷川等舟作



- 自家用車では、大分駅から滝尾橋ルートで約10分。
- バスでお越しの際は、(大分駅前(6)番乗り場) 大分バス「一里塚」行きで14分、「牧」バス停下車、徒歩2分。
- JRでお越しの場合は、日豊本線 牧駅下車、徒歩6分。
※大型バス駐車可能、普通車200台程度駐車可能。

